

北相木村まち・ひと・しごと創生総合戦略 実績・評価一覧シートNo.1

基本的戦略1 自然資源を活用した地域経済づくり

基本目標 自然資源を活用して仕事と雇用を作り出すことにより地域経済を活性化させる。

目標数値	基準値	目標値(平成31年)	H27実績	H28実績	H28評価
新規就農者	—	5ヶ年で5人	3	1	菊による産地化を目指す中で農業を就労場所とし、基盤整備や新規就農者を受け入れるサポート体制等も整ってきている事から、定着した農業者は長期定住が見込まれ、新規就農者も少ないながらも増えていく見込はうかがえる。

プロジェクト1-1 山の仕事・農の仕事づくりプロジェクト

施策	基準値	KPI	H27実績	H28実績	事業内容	取組と実績値の分析	今後の展開
● 地元木材活用事業	H25公共施設2か所実施	地元木材の活用事例: 5ヶ年で10棟	0	0	新規村営住宅等の整備や改修の際に、積極的に地元木材を活用する。	京の岩村住、農産物等直売所の建築に伴い村有林カラマツを使用。更新伐事業との連携事業ができることを確認	H28から繰越事業となった坂上及び山口村営住宅に村産材を使用する。地域内外の方に展示会開催検討
● 遊休農地活用事業	これまで2世帯、新規就農者(H24~27)3人	新規就農者:5ヶ年で3人	3	1	長期遊休荒廃地の再生(周辺森林整備含む)農地整備→優良農地へ	菊栽培新規就農者により1ha遊休農地を解消。大平地区では農地周辺の更新伐事業と絡めコサ切を推進→優良農地化	新規就農者に対するサポートも充実してきており、PR活動も強化する中で人を呼び込む。農地の再利用面積を拡大
● 再生可能エネルギー活用事業	—	再エネ事業の活用:5ヶ年で2施設	0	0	公共施設において灯油ボイラーから森林資源を活かした薪ボイラーの設置データを見て一般家庭へも推奨	現在まで実績なし	公共施設管理計画を基に修繕等計画的に進め、経費節減と地域資源を活かすべく小型薪ボイラー設置の検討を行う。

プロジェクト1-2 「職人の村」興しプロジェクト

施策	基準値	KPI	H27実績	H28実績	事業内容	取組と実績値の分析	今後の展開
● 伝統技能伝承事業	—	伝承者:5名	2	2	各種伝統技能を次世代に引き継ぐべく、職人から伝える場を設けたり、記録を残す。	伝統行事・家難祓に使う蚕俵や十日夜の藁鉄砲の作り方を学校行事又は個人指導で行っている。	CATVでの記録管理を行う。公民館活動や小学校、山村留学事業での習得。地域おこし協力隊事業で検討
● 村まるごとセールス事業	—	コーディネーター: 5年で2人	0	2	SNSを活用しながら村農林産物、特産物等の販路開拓を行い地場産業の振興を図る。	H28加速化交付金事業において研究開発を委託した2団体がHPの立ち上げやSNSを利用した広報活動を始動し始めた。	村やコーディネーターを介した地域のまとまりをもった販路開拓を行っていく。また販売責任をもって取り組む中心とする。

プロジェクト1-3 空き家再生プロジェクト

施策	基準値	KPI	H27実績	H28実績	事業内容	取組と実績値の分析	今後の展開
● 空き家活用定住・起業等支援事業	—	空き家再生: 5ヶ年で3事業	4	5	空家を利活用し、定住者の増又は雇用の場としての利用していく。そのための支援も行っていく。	リフォーム補助、家賃補助等の充実や宅建協会との協働事業により少しではあるが契約件数が増えてきている。	空家等特別措置法改正内容等も家主に十分理解いただきながら、空き家等対策計画を踏まえ利活用の推進を行う。

北相木村まち・ひと・しごと創生総合戦略 実績・評価一覧シートNo.2

基本的戦略2 「学びの村」「縄文の村」による移住者と交流人口増加による活気づくり

基本目標 山村留学の拡充と教育学習に力を入れた地域としての特徴を活かし定住人口と交流人口の増加を促進する。

目標数値	基準値	目標値(平成31年)	H27実績	H28実績	H28評価
社会移動	H22～26 △37人	H27～31 + 1人	+14	+15	毎月人口異動調査に基づいて調べた、村外からの転入と村内からの転出の差を示す「社会増減」は+15人となった。長野県のまとめによると16年1月1日現在から17年1月1日現在を比較し、人口増となったのが9市町村で、そこに北相木村も入っており、人口増加率で見ると1.86%だった当村が最も大きかった。教育環境の整備が大きな要因と言える。但し自然増減では大きく人口減となり深刻な状況

メモ H27転出53→転出67 H28転出41→転入56 ・ H27出産5→死亡13 H28出産5→死亡14

プロジェクト2-1 学びの村づくりプロジェクト

施策	基準値	KPI	H27実績	H28実績	事業内容	取組と実績値の分析	今後の展開
● 長期山村留学促進事業	山村留学生:23人 (複数年留学含む)	長期:5ヶ年で延100人 期間限定:5ヶ年で延50人	21	30	親元を離れ1年以上の山村留学を行う。生活はセンターの他希望により農家Hsする。ニーズや受入態勢により短期も検討	受け入れるノウハウが確立されており、新たな学力向上事業も功を奏し、安定した希望数が確保されている。	山村留学を村全体が支えるような取り組みとし、子どももその父兄も村民との交流を深められるような事業を行いたい。
● 親子山村留学促進事業	親子山村留学:1世帯3人	親子山村留学:3世帯	1	5	北相木村の教育環境をPRし、親子留学を受け入れる。遠距離通勤されている世帯には通勤費補助金を支給。	学習環境が整いつつある中で、希望世帯も増えてきている。今後も徐々に増えていくと思われる。	住宅確保や雇用の創出に力をいれ、安定した事業を行うと共に、地域住民と交流が深められるような事業を行いたい。
● 村まるごと教室事業	大都市圏児童 サマースクール:40人	参加者:5ヶ年で100人	52	53	村にある観光施設や民泊等を利用し、北相木村の地場産業や自然資源を活用した体験プログラムを実施する。	大手民間学習塾が、農作業体験を目的とし、多くの児童が来ている。これを切っ掛けに留学事業への移行も検討する。	民間塾の企画の受け入れを固定化し、村でも加速化交付金事業で新たな組織もできた事から色々なプログラムを行う。

プロジェクト2-2 山村のIT情報発信プロジェクト

施策	基準値	KPI	H27実績	H28実績	事業内容	取組と実績値の分析	今後の展開
● ITを活用したネットワーク形成事業	ケーブルテレビ及びインターネット加入者:159名	新規加入:10名	1	2	CATVを利用した情報発信による交流づくりとインターネットを利用(SNS等)した村内外の交流事業	ブログやフェイスブックで交流している方が村内でも多くおり、何気ない情報でも好評を得ている。高齢者の利用も向上させたい。	情報コンテンツづくりやSNSの活用により交流を深める様にするが、日々の更新や誰も見えて触れるような身近なものにする。

CATV加入者H27 410世帯・H28 416世帯

プロジェクト2-3 村への移動大歓迎！プロジェクト

施策	基準値	KPI	H27実績	H28実績	事業内容	取組と実績値の分析	今後の展開
● 移住コーディネーター・大使養成事業	—	相談件数:5年間50件 コーディネーター:〃 2人 北相木村大使:〃 20人	5 1 9	5 1 9	転入時及び転入後に発生する様々な諸問題の相談役となる人材を養成する。	コーディネーターは基本的に区長さんが自主的に取り組んでいただいております。相談役として重要な役割を担って頂いている。	現在、移住相談員に峰尾勝巳様、集落では区長さんに携わって頂いており、行政と連携を密に安心しできる対応にする。
● 二地域居住促進事業	—	二地域居住者及び定住希望者 5ヶ年で5世帯	2	6	ライフスタイルの変化に対応すべく、都市と村で居住できる交流人口を増やし、定住促進にも結び付ける。	親子留学により母親と子どもが北相木村に居住し、父親が週末に家族と暮らすケースがほとんどである。	働く時間や場所の自由度を高める企業の働き方改革に注目し、IT環境が整っている当村のメリットをPRしていく。
● 移住支援事業	村営住宅居住者197名	村営住宅への新規居住者:5ヶ年で20世帯	15	8	村営住宅や空き家への移住者を増加させる。 現住宅所有状況 公営26戸・村営25戸・集合24世帯 H29集合 坂上12世帯・山口4世帯追加予定	現在75戸あり内、空き室が3戸で入居率94.7%となっている。坂上及び山口村営住宅建設にも着手	就農や教育、近隣の雇用数の増等により、転入希望者が増えている中で住環境整備は重要施策に位置付ける。

メモ H27入居15世帯25名 退去9世帯14名 H28入居8世帯21名 退去10世帯27名

プロジェクト2-4 村おこし応援隊！プロジェクト

施策	基準値	KPI	H27実績	H28実績	事業内容	取組と実績値の分析	今後の展開
● 「好きです。信州・北相木村」応援隊	—	北相木村応援隊:5ヶ年で隊員100人	不明	不明	村外の方々に対してインターネットを利用した交流促進や、イベント等のPR事業の実施・協力依頼	加速化交付金事業で立ち上がった2団体が其々HPを持ち、情報発信していると共に、メンバーがFB等を使い情報発信	スマートフォンやタブレットPCの普及により、身近で新鮮な話題が頻りに通信され大変重要な情報ツールとして利用する。

北相木村まち・ひと・しごと創生総合戦略 実績・評価一覧シートNo.3

基本的戦略3 山村ならではの子育て支援による子どもの声が溢れる村づくり  
 基本目標 村ぐるみの出産や子育てを応援する村の魅力を高め合計特殊出生率を高める。

目標数値	基準値	目標値(平成31年)	H27実績	H28実績	H28評価
合計特殊出生率	H20～24 1.52(平均値)	H31 1.73	1.395	1.500	出産、子育て環境を充実させ、若い世帯の転出を抑制→そのためにどんな希望があって、課題は何か分析の必要性あるとおもわれる。また、転入を促進させるために、就労施策等を一体的に検討していく必要がある。 参考 15～49歳女性人口異動 H27転入13名転出11名+2名・H28転入10名転出16名△6名

プロジェクト3-1 村ぐるみ子育て応援プロジェクト

施策	基準値	KPI	H27実績	H28実績	事業内容	取組と実績値の分析	今後の展開
● オールビレッジ子育て応援事業	利用者:H26 250人	利用者:5ヶ年で250人	66	85	子育て世帯に対するソフト事業の充実を図ると共に見守る体制を整え転出の抑制、出生率向上を図る。	生み育てるために、支援等を行い育児見守りの一助として取り組んでいる。	時代背景が変わってきているため、何が求められているのか把握し、より良い環境整備ができるよう取り組む必要がある。
● 生きる力向上支援事業	小学校・保育園講義開催:年11回	小学校・保育園講義開催:5ヶ年で60回 受講者:5ヶ年で2,400人	12	12	特徴ある学力向上事業を実施し、放課後や長期休みに併せて子供の見守りにもつなげる。(月1回全小学生・年少以上保育園児受講)	花まる学習会の学力向上事業を導入後、学力テストにも成果が表れてきている。	今後とも民間との協働教育を進め、英語の学習指導要領改正に向け、先駆けて取り組んでいく。公設塾(見守り)検討
● 山村留学卒業生同窓会事業	大都市圏小学児童サマースクール40人	同窓会の開催:5ヶ年で1回、参加者30人	0	1	山村留学卒業生が定期的に同窓会を開催することによって交流を深め、後輩の子供達のアドバイスとなる情報を発信する。	本年山村留学事業30周年の節目を迎え、これを機に、定期的な交流が持てるよう会の発足が決まった。	定期的に交流を持つ中で、目的意識を持ち、何か成果を生む活動にしていく。
● 山村PTA交流発信事業	—	交流会の開催:5ヶ年で5回	0	1	山村留学中又は経験者の保護者同士が子育てに関する情報交換等を行い、村民も交えて交流する。知恵を蓄積していく。	小学校の行事に合わせて集い情報交換が行われている。今後、いかに村民との繋がりが持てるかが課題	今までのスタイル+村のイベント、行事、清掃作業、農作業等体験作業に参加してもらったり、村にスキルを活かしてもらおう。

プロジェクト3-2 子育ての知恵袋プロジェクト

施策	基準値	KPI	H27実績	H28実績	事業内容	取組と実績値の分析	今後の展開
● 子育て経験蓄積還元事業	—	村外からの問い合わせ:5ヶ年で25件	1	1	山村留学等で蓄積された子育ての知見や経験等を、村外の子育て世帯にITで発信する。	山村留学センターHPよりホームページ先の農家様の様子を情報発信	農家入りしての生活の様子をもう少しブログ等で紹介する中で、村民の優しさや、安心して住める生活を発信していく。

プロジェクト3-3 赤ちゃんおめでとう！プロジェクト

施策	基準値	KPI	H27実績	H28実績	事業内容	取組と実績値の分析	今後の展開
● 祝出産！事業	—	村民による子育て支援サービス利用者:5ヶ年で10人	4	6	各種子育て支援サービスの提供(出産祝い金支給含む)	出産祝い金の支給	ニーズを把握し、より良いサービスを提供する。また、地域のネットワークが作れる環境整備の手助けを行う。
● 出産応援事業	—	利用者:5ヶ年で10人	4	6	広域連携し、医療等の専門分野での出産育児環境を整える。	広域連携して、医療の確保や専門資格者の派遣をして頂ける様対応した。	医療機関でも専門診療科の医師等の確保が難しい状況ではあるが、医療の確保は大変重要なので広域連携を強化

プロジェクト3-4 自然体で愛を語ろう！プロジェクト

施策	基準値	KPI	H27実績	H28実績	事業内容	取組と実績値の分析	今後の展開
● ザ・喜多愛来事業	—	参加者:5ヶ年で20人	10	28	村内で各種体験イベントを企画し、その機会を通して出会いの場を提供する。	南部4自治体で白樺結婚相談所を運営し取組、村独自でもスポーツなどを通して交流できる場所づくりを行っている。	今後とも関係自治体と連携、また単独でも出会いの場を提供していく。個々の希望も聞き、お見合い的なプログラムも検討

北相木村まち・ひと・しごと創生総合戦略 実績・評価一覧シートNo.4

基本的戦略4 持続可能で安心して暮らせる村づくり

基本目標 村民と村を支える人たちによる持続可能で安心して暮らすことができる村づくりを行う。

目標数値	基準値	目標値(平成31年)	H27実績	H28実績	H28評価
村づくりに参加協力する村外者	—	100人	0	100 東京北相木会員 サーモン会員等	村出身者による情報発信や地域産品の購入等協力や、山村留学関係者も気にかけてくれる方が多く、せつかくの繋がりを活かす為ネットワークづくりの検討を進めていく必要がある。

プロジェクト4-1 「村の居間(サロン)」プロジェクト

施策	基準値	KPI	H27実績	H28実績	事業内容	取組と実績値の分析	今後の展開
● 小さな拠点整備事業	—	村の居間(小さな拠点): 5ヶ年で1カ所 利用者年間:1,000人	0	0	多機能複合的「小さな拠点」コミュニティ施設を設置し人々が集えるスペースや多目的情報発信基地とする。	村内外の方が気軽に集える場の確保として、長者の森や喫茶グリーン、直売所の広報や運営等検討を行う必要がある。	とりあえず今ある施設をどの様に利活用していくのか再検討し、村内外の方々が有意義に使える運営等を行っていく。

プロジェクト4-2 海彦山彦プロジェクト

施策	基準値	KPI	H27実績	H28実績	事業内容	取組と実績値の分析	今後の展開
● 地域間連携事業	—	情報発信等:1,500件	0	0	村出身者や山村留学関係者等と交流を深める中で、自然災害等遭った際に避難受入や救援物資提供など連携模索する。	実績なし	村内での許容範囲などを充分確認したり、東京北相木会等での検討会議を行う。

プロジェクト4-3 大規模災害死者0人プロジェクト

施策	基準値	KPI	H27実績	H28実績	事業内容	取組と実績値の分析	今後の展開
● ほっとライフ減災備蓄事業	—	防災訓練参加者:5ヶ年で延450人	100	100	行動計画に基づき減災に結び付け、有事の際の備蓄品確保、ライフライン及び環境整備を進め、安心して住める地域PR実施	年1回の全村一斉防災訓練等を開催	有事に対応できる準備を整える。防災組織の維持・強化を図る。広域連携を強化する。住民相互の連携強化を図る。

プロジェクト4-4 村の人材発掘・育成プロジェクト

施策	基準値	KPI	H27実績	H28実績	事業内容	取組と実績値の分析	今後の展開
● 村づくり総合コーディネーター事業	—	村外有識者:5ヶ年で1人 村内人材育成: 5ヶ年で10人	1	1	総合戦略の管理運営や地域づくりの知識を有する村外有識者から支援を受け、それを地域で活かすキーパーソンを育成	村外有識者を確保し、計画のチェックを行っている。	例えば、本協議会委員、多方面で活躍されている方々に携わって頂いていることから村づくりに活躍してもらおう。